

特別セミナー(外国人研究者招聘)
「人間の生活の質(QOL)をどう評価するか？」
- SEIQOL-DW 法と構成主義(constructivism) -

今日の医療では、患者のQOL(生活の質)の向上が大きな目標となっています。しかし、QOLの評価は容易なことではありません。様々な疾患の患者のQOLをいかにして評価すべきなのか、QOLを「測定」することはどうすれば可能なのか。今回、QOL評価法であるSEIQOL-DWを開発し、国際的に高い評価を得ている、アイルランド王立外科医学院(Royal College of Surgeons in Ireland)の2人の講師をお招きし、セミナーを開催することになりました。多数のご来場をお待ちしております。(情報の更新は以下リンク先にて提供<http://www.clg.niigata-u.ac.jp/kango/info/qol.html>)

主催: 新潟大学医学部保健学科ヒッキー／オボイル先生講演会実行委員会
後援: 厚生労働省難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者の生活の質(QOL)の向上に関する研究」班、国立病院機構新潟病院、難治性疾患克服研究推進事業、外国人研究者招聘事業(ヒューマンサイエンス振興財団)、看護療法研究会
顧問: 西澤正豊(新潟大学脳研究所神経内科)
世話人: 尾崎フサ子、後藤雅博、宮坂道夫(以上、新潟大医学部保健学科)、後藤清恵(新潟大学医歯学総合病院生命科学医療センター、国立病院機構新潟病院)、大生定義(立教大学社会学部)秋山美紀(東京医療保健大学医療保健学部)、川口有美子(日本ALS協会、さくら会)、中島 孝(国立病院機構新潟病院)、伊藤博明(国立病院機構新潟病院)

日時: 2007年3月29日(木) 午後1時より
場所: 新潟大学有壬記念館
参加費: 無料
同時通訳: あり

概要:

開会挨拶: 石原 清 先生(新潟大学医学部保健学科・学科長)
司会進行: 中島 孝 先生(国立病院機構新潟病院・副院長)

講演1 Ciaran O'Boyle 先生(アイルランド王立外科医学院心理学部・教授)

演題 「Individual Quality of Life(QoL) - theory and perspective, general concept, construct psychology and individual QoL」

講演2 Anne Hickey 先生(アイルランド王立外科医学院心理学部上級講師)

演題 「Administration of SEIQoL-DW for beginners: How to find or construct cues from patient's narratives and how to interview the patient for constructing QoL in patient's mind and examples of previous clinical data of SEIQoL」

〈休憩〉

ディスカッション(指定発言に続き、フリー・ディスカッションを行います)

指定発言: 後藤雅博 先生(新潟大学医学部保健学科・教授)

「精神科医療の立場から」

後藤清恵 先生(新潟大学医歯学総合病院・生命科学医療センター・特任助教授)

「臨床心理学の立場から」

宮坂道夫 先生(新潟大学医学部保健学科・助教授)

「生命倫理と QOL 評価」

閉会挨拶: 丹野かほる 先生(新潟大学医学部保健学科・教授)

参加ご希望の方へのお願い

会場準備の都合がありますので、参加ご希望の方は、3月20日までに下記事務局まで、電子メールまたは電話・ファクスにて、お名前と申し込み人数をお知らせください。

お名前: () 参加申し込み人数: () 人

新潟大学医学部・宮坂研究室

電子メール miyasaka@clg.niigata-u.ac.jp

電話・ファクス 025-227-0734